

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 安城商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考					
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価			今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①	目標②	目標①②ともに達成したため、現行どおり実施する。
巡回・窓口相談指導事業	市内事業者の大半を占める小規模事業者並びに創業を予定する者への振興と安定に寄与することを目的に、経営の改善発達を支援する事業を推進するにあたり、指導の方法として巡回・窓口による相談業務を行う。	・巡回窓口指導実企業数996社(内非会員数164社) ・巡回窓口指導延件数1,991社(内非会員数389社) ・課題解決提案実企業数60社 ・経営革新承認件数0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 103.7%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	得られた効果	窓口指導を中心に経営計画の作成や補助金申請サポートを行うことで、小規模事業者の経営改善、売上アップを図ることができた。また課題解決で、問題抽出から各種指導を行い改善が図られた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標①②ともに達成したため、現行どおり実施する。
記帳継続指導	個人事業主を対象に正しい記帳方法と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と決算財務分析による経営力の向上を支援する。	・指導対象者数 79人 ・指導延日数 498日 ・指導延回数 646回	小規模事業者	指標	記帳指導実企業数 (達成度 105.3%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	小規模事業者に経理事務の省略化および的確な税務申告の向上と会計ソフトによるIT化やe-taxによる電子化が図られた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標①については達成したため、現行どおり実施する。
講習会等事業	金融、税務、経営一般、労務、創業、情報化、経営革新等に対する講習会及び個別相談会を開催することにより、知識の習得や適性な申告を支援する。	講習会開催回数及び受講者数 ・集団 9回 126人(うち経営革新1回15人) ・個別 62回 179人 計 71回 305人	小規模事業者	指標	集団指導参加人数 (達成度 76.4%)	指標	個別指導参加人数 (達成度 82.9%)	得られた効果	集団指導ではオンライン受講が可能なハイブリット開催を基本とすることで利便性を高め、個別指導では小規模事業者の相談に的確に対応することで経営改善が図られた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	目標①については開催回数を鑑み目標を下げる。②については、達成していないが、ニーズが高いため現行どおり実施する。
部会・委員会事業	地域総合経済団体である商工会議所の一翼を担う部会・委員会活動を指導することにより、経営改善の推進及び地域の振興活性化を目指す。	・部会事業 17回(工業・商業・観光サービス・建設・金融・交通運輸) ・委員会事業 11回(運営・中小企業・交流・雇用労働)	小規模事業者および中小企業	指標	部会・委員会事業実施件数 (達成度 140.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	業界向けセミナーや雇用対策事業に加え、部会主催の視察会を開催することができ、各業界の振興と交流が図られた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標①については達成したため、現行どおり実施する。
若手後継者育成事業	経営に必要な知識習得や資質向上を図るための講習会・研修会を開催する。 運営方針等組織活動に対する指導を通じて、部員の育成及び地域の振興活性化を支援する。	・青年部・女性会等資質向上研修会 3回 114名 ・青年部・女性会等資質向上研修会 満足度 85% ・青年部・女性会商工会議所全国大会等参加	青年部・女性会の小規模事業者および中小企業	指標	青年部・女性会等研修会参加者数 (達成度 126.7%)	指標	満足度調査(満足度%) (達成度 106.3%)	得られた効果	会話術やカラーコーディネートを学ぶセミナーを開催することで、部員若手後継者の経営に関する資質向上を図ることができた。また事業承継セミナーでは、コンサルティングによる分かりやすい事例紹介で理解度を深めることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 上げる	目標② 現行どおり	目標①については大きく達成したため目標を上げる。②については、目標を達成したため、現状どおり実施する。
地域振興事業	本市最大の観光事業である安城七夕まつりを開催し、開催エリア内外の店舗集客と本市経済の活性化に繋げる。 市内事業者のPRと地域経済の活性化対策としてふるさと納税を活用した新商品開発や販路開拓支援	・第71回安城七夕まつり(令和6年8月2,3,4日)3日間の来場者数 延べ100万人 ・ふるさと納税を活用した新商品開発や販路開拓支援	一般市民や小規模事業者	指標	来場者数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	安城七夕まつりは、気温が高いこともあり夕方以降の来場者が多くなったが、エリア内外の店舗のPRをすることで市内事業者の販売促進に繋がった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標①については達成したため、現行どおり実施する。
商店街・街づくり事業	地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベントを開催する。商店街振興・街づくりを通して地元事業者の活性化を支援する。 また展示即売会等を開催し、市民への認知度を高めることで販路開拓の支援をする。	・まちづくり会社や商店街等が実施するイベントの支援 6回 ・展示即売会等の販促事業の実施	商業・サービス事業の小規模事業者および中小企業	指標	イベント開催回数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	まちづくり会社が実施するホコ天等を支援することで中心市街地の賑わい創出に繋がった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標①については達成したため、現行どおり実施する。
産業活性化事業	市のコーディネーターと連携した製造業支援による交流会等を開催することで、地域産業の活性化と新産業の創出を目指す。	・安城ものづくりネット 2回 48人 ・市とのものづくり推進会議の開催	製造業の小規模事業者および中小企業	指標	交流事業参加企業数 (達成度 96.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	先進製造業者による講演や参加者によるワークショップや情報交換を行うことで、参加者間の情報共有やマッチングにも寄与することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	目標①については達成していないが、ニーズが高いため現行どおり実施する。
経営強化事業	新規事業の創出とネットワーク強化のための会員相互の情報交換会や視察会、商談会の開催、並びに団体を支援することで企業の発展を目指す。 また事業者の課題を解決するため、専門家を派遣し経営の持続的発展を図る。	・会員交流事業 1回 19社 ・商談会事業 2回 25社 ・異業種交流「サルビア研究会」や視察会、交流会、賀詞交歓会 ・青色申告会、法人会、納税貯蓄組合等への支援 ・専門家派遣事業等の実施	小規模事業者および中小企業	指標	交流事業参加企業数 (達成度 63.3%)	指標	商談会参加企業数 (達成度 166.7%)	得られた効果	事業者間のマッチング機会を提供する交流事業を開催し、人脈構築や販路開拓に繋がった。商談会では、製造業を中心に事業者の商談機会を提供することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	目標①については開催回数を鑑み目標を下げる。②については、目標を達成したため、現状どおり実施する。

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 安城商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価										
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足					
調査・広報事業	市内企業の現況を把握し、地域経済動向分析のための定期景況調査を実施する。 新商品等のマスメディアや当所会報への露出機会の提供による、需要開拓支援を実施する。	・市内定期景況調査 397社 (約100社×4回) ・プレスリリースや会報掲載企業数 15社 ・毎月の会報発行	小規模事業者および中小企業	指標	定期景況調査回答数 (達成度 99.3 %)			指標	プレスリリース等企業数 (達成度 150.0 %)			市内の各種業種ごとの景況調査を行うことにより地域経済の動向を把握できた。また新たな取組や新商品の情報を地元メディアに提供することで販路拡大の契機にすることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	目標①については達成していないが、ニーズが高いため現行どおり実施する、②については達成したが内容を鑑み目標を下げる。
雇用促進事業	市内企業の経営・雇用の持続的な安定を図るための新卒並びに中途採用のための企業説明会等を実施する。	・合同企業説明会等の雇用促進事業 4回 82社 ・企業説明会ANJOBの開催 1回 30社 ・高校との情報交換会および就職ガイダンの開催 ・企業ガイドブックの制作等	小規模事業者および中小企業	指標	雇用促進事業参加企業数 (達成度 205.0 %)			指標	ANJOB参加企業数 (達成度 200.0 %)			企業の求人ニーズや学校の就職活動を両者に提供することで事業者ニーズの高い採用活動の支援ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 上げる 実施方法② 現行どおり	目標①については開催回数を鑑み目標を下げる、②については、大きく達成したため目標を上げる。
福利厚生事業	小規模事業者の健全な経営と雇用確保のための各種共済制度の普及による福利厚生の充実を図る。	・たなばた共済加入促進キャンペーンの実施 ・福利厚生事業加入者数 2,900人	小規模事業者および中小企業	指標	共済制度加入者数 (達成度 95.1 %)			指標	(達成度 % )			共済制度加入キャンペーンにより雇用維持、確保のための福利厚生の充実を目指し制度の活用などを周知することで経営ならびに雇用の安定に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② ( ) 実施方法② ( )	目標①についてはキャンペーンやPR方法を再検討したが、目標を達成できなかったため目標を下げる。
検定等支援事業	地域の人材育成や雇用定着を図るため、各種検定試験を実施し資格取得の支援をする。	・各種検定試験の開催 受験者数 349人 ・資格取得のセミナー開催 1回	一般市民や小規模事業者	指標	検定試験受験者数 (達成度 87.3 %)			指標	(達成度 % )			企業実務で必要とされる各種検定試験を開催することで資格取得による人材育成に繋がった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	満足度 B 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② ( ) 実施方法② ( )	目標①については受験方法の多様化を鑑み目標を下げる。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。